



東京ヤクルトスワローズ

TEAM ORGANIZATION ANALYSIS チーム編成分析

ケガに苦しみ、壊滅的ダメージ受けるもここまで踏ん張った大きなケガからの復帰組に若手の成長は来季への光明が差す
山田が2年連続の偉業達成

リーグ連覇を狙ったヤクルトだったが、優勝争いに絡むことはなく、CS進出なるかどうかというシーズンになった。

とにかく相次ぐケガ人に泣かされた。とくに野手陣は、川端慎吾、雄平、島山和洋と主力が次々に離脱し、シヨートで安定した守備をみせる大引啓次もケガが多く、山田哲人さえも一時戦線を離れた。昨季は、主力野手の中でバレンティンがシーズンのほとんどを棒に振ったが、今季はバレンティン以外の主力野手の名前がスタメンから消えた時期もあった。

その中で、山田は2年連続トリアブルスリーがほぼ確実と驚異的な活躍を見た。過去、複数回達成した選手さえない中、山田は2年連続と球史に残るプレーヤーに

までなった。盗塁成功率は9割以上で、闇雲に走っているわけではない点も称賛に値する。守りでも進歩を見せ、屈指のオーララウンドプレーヤーといえる。

若手を積極的に起用

自由契約となり獲得した坂口智隆は、チーム最多出場。打率も3割近くを残し、ポジションを確保した。欲を言えば、かつてのようなスピードを取り戻してほしい。

ケガ人が相次いだチーム事情もあるが、真中満監督は夏場以降に若手を積極的に起用した。西浦直亨、荒木貴裕、鶴久森淳志といった、これまで今ひとつ殻を破れなかった選手にチャンスを与え、チームの底上げを図ったことは来季以降に生きてくるだろう。ケガ人の復帰を期待しつつ、来季の巻き返しに注目だ。

年齢・ポジションによるチーム構成

年齢	投手		捕手	内野手		外野手	
	右投	左投	右打	右打	左打	右打	左打
~20		(20)ジュリアス 高橋奎二		(20)廣岡大志 渡邊大樹			
21			山川晃司				
22		児山祐斗			奥村展征		
23		田川賢吾					
24	風張連 原樹理					川上竜平	(左投)山崎晃大朗
25	杉浦絵大 中島彰吾		西田明央	山田哲人		原泉	
26	平井諒	岩橋慶侍		西浦直亨 谷内亮太			
27	小川泰弘 土肥寛昌	竹下真吾	中村悠平			ジェファン	
28	木谷典平 徳山武蔵 由規 (サ)秋吉亮						
29	石山泰稚	中元勇作	星野雄大 (左打)藤井亮太				上田剛史
30	寺田哲也	村中恭兵		荒木貴裕	川端慎吾	鶴久森淳志 比屋根涉	松井淳
31	古野正人 ルーキ	久吉健太郎					
32	山本哲哉 (ア)山中浩史	中澤雅人 成瀬善久 ヘレス					
33			井野卓	大引啓次	今浪隆博 三輪正義 森岡良介	バレンティン	坂口智隆 (左投)雄平
34	近藤一樹 デイビース				(左投)武内晋一☆	飯原晋士	
35~	(35)松岡健一 (36)島山昌平 (37)新垣浩	(37)石川雅規	(35)田中雅彦	(35)田中浩康 島山和洋☆			

◎=両打、☆=墨手、ア=アンダースロー、サ=サイドスロー、下線=2015年ドラフト選手、◇=育成選手、太字=外国人選手、明朝体の文字=途中加入選手。年齢は2017年の満年齢としています。(情報は2016年9月10日現在)